

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市高砂老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 22,621人（前年度比 148.0%） 令和3年度 15,281人（前年度比 102.6%） 令和2年度 14,899人（前年度比 40.5%）	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 37,870千円（35,535千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（1,019千円） （ ）は前年度決算額	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年2月に利用者アンケートを実施した。また、運営委員会、地域委員会、意見箱の設置等を実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館や市民センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染症対策は、都度内容を見直しながら、センター行事は利用者の意向を取り入れ、新たな取り組みを実施しており、利用者数も少しずつ回復してきている。</p> <p>介護予防事業では、運動を取り入れた新たな事業としてリラックスヨガ教室を開催し、さらにパワーリハビリ教室や太極拳教室等も継続実施し、健康増進の機会を創出することができた。</p> <p>地域の交流拠点づくりについては、感染対策を行いながら飲食なしの形式で、カフェを開催し、事業には地域の企業等と協働で取り組んだ。</p> <p>センター行事の中で、季節行事としてのセンター内の清掃活動等ボランティア活動への参加促進、地元学生とセンター利用者の世代間交流の場の提供、地域の介護予防自主グループが活躍する機会の創出に取り組んだ。</p> <p>地域住民や利用者代表の方々の会議において、高齢者の軽体操やリハビリマシンの体験会を行い、介護予防の取り組みの必要性について理解する機会を創出した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>介護予防事業では、運動を取り入れた新たな事業としてリラックスヨガ教室を開催し、さらにパワーリハビリ教室や太極拳教室等も継続実施する等、各種講座を工夫しながら健康増進の機会を創出している。</p> <p>地域の交流拠点では、飲食なしの形式で、感染対策を行いながらカフェを開催し、地域の企業等と協働で取り組んでいる。また、センター行事の中で、季節行事としてのセンター内の清掃活動等ボランティア活動への参加促進、地元学生とセンター利用者の世代間交流の場の提供、地域の介護予防自主グループが活躍する機会の創出に取り組む等地域住民と交流しながら運営している点も評価できる。</p> <p>地域住民や利用者との会議において、高齢者の軽体操やリハビリマシンの体験会を行い、介護予防の取り組みの必要性について理解する機会を創出する等、様々な面で施設のサービス向上に努めており、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課